



沼澤道也 議員

地域づくりと公民館大会の関係は

沼澤道也議員 毎年7月に行われている地域公民館大会の現状をどう評価しているのか。テーマの設定、地域範囲、手法等について検討の必要はないのか。須賀教学課長 それぞれの地域における課題発掘や解決の場として

本大会の果たす役割は大きいものと評価している。現在の地域公民館大会は、昭和57年から開催され今年度で35回目となっている。開催地域も当初8地域、途中で小学校区4地域

平成3年度からは現在の5地域となっている。マンネリ化の意見はあるが、各地区の区長を中心とした地域リーダーの主体性を基本に実施されている。本年度は、東郷地域と金山地域で県職員による地域づくり講和が行われた。他の3地域では、独自の課題を持ち寄り実施されている。

「小さな拠点づくり」の手法を検討しては

沼澤議員 地域の状況や課題は多様なものとなっている。この地域単位では掘り起こせないものもあると感じて

いる。「小さな拠点づくり」という手法が合併市町村で注目されている。必要ではないかと考えている。夏になると各大学のゼミも多く来てるので、これらとも関連させた新公民館活動も取り入れ、各集落毎に開催してもよいのではと考えているが如何か。

# 地域公民館大会の評価は

## 回答 マンネリ化打破の検討を

いる。「小さな拠点づくり」という手法が合併市町村で注目されている。必要ではないかと考えている。夏になると各大学のゼミも多く来てるので、これらとも関連させた新公民館活動も取り入れ、各集落毎に開催してもよいのではと考えているが如何か。

町長 公民館大会は、来年で60回目を迎えるが、是非、自由発案な意見が出てくる地域公民館大会になるように検討していきたい。

「小さな拠点づくり」という点では、町民フォーラムは地域単位なので、その地域の多様な課題、意見が出てくるのも確かである。教育委員会とも話をしてマンネリにならない新しい手法も検討していきたい。

※その他、ふるさと納税の活かし方についても質問をした。



平成27年度公民館大会

町長 現在3点の手法が議論されている。1点目は、新庄・最上の高校再編に合わせて、看護師養成科の設置を県に要請する。2点目は、建物は最上広域で建て、運営は民間法人に委託する。3点目は、最上広域が直営で養成機関を建設運営する。

※10月14日に最上地方町議員研修が開催され、山形県最上総合支庁保健福祉環境部長船田孝夫氏から「最上の地域医療の現状と今後の展開方向」をテーマとし、県立新庄病院の改築や町村医療機関の連携や看護師等の不足、今後の採用等を学んだ。

# 大震災時の神室ダムの想定は

## 回答 災害に対する町民の心配を県に伝える



矢口政一 議員

矢口政一議員 神室ダムに係る町・県の地域防災計画の記述内容の見直しはあるのか、また、崩壊は想定されているのか。

武内町民税務課長 「金山町地域防災計画」に基づき、災害が発生した場合、必要に応じた巡回などを実施する。また、崩壊は想定されているのか。

「山形県地域防災計画」では、防災予防対策として、河川法施工令に基づき点検、耐震性を維持し地震計の設置等管理体制の整備を図る。



神室ダム

用し、ダムの自重で水圧に耐えるのが特徴で、基礎岩盤が堅固な地に建設される最も頑丈な型式であり、地震や洪水に強いことが利点。県によると、「河川管理施設等構造令」及び「河川砂

防技術基準」等により、十分な強度で設計・施工されており、災害による崩壊の危険性は想定していないと言う。町長 ほとんどの災害は、想定していない中で発生している、町民の心配を県に伝える。

町長 最上広域看護師養成機関の設置を期待

災害が発生した場合、直ちに被災状況調査を実施、ダムに異常が認められた場合は関係機関等と密接に連携し、貯水位制限等の対策、止水処理などの応急的措置、関係機関及び住民への通報を実施する。神室ダムは、重力式コンクリートダム方式で建設され、その地に適した「イコス工法」が用いられ、地下浸透の水を止めており、コンクリートの質量を利

町長 最上広域看護師養成機関の設置を期待



最上の地域医療の現状、今後について研修 (10/14)